



八郷町民多年の宿望達す

後、大槻町長の式辞があり、
桜井町議会議長、真家石岡一
高校長のあいさつ、ついでに
建設功労者に感謝状贈呈、山
本代議士外來賓の祝辞があり
生徒代表の力強い答辞をもつ
て式を閉じた。

入郷 高校誘置の
経過

昭和三〇、六、二三
高校誘置促進委員会結成。
才一回委員会をひらき、石

全三〇、一一
才二回定例県議会で請願が

昭和三〇、六、二三
高校誘置促進委員会結成。
才一回委員会をひらき、石
開校式風景

全 三一、二、三
促進委員會開催、敷地候補地など検討。



出果陳情
三十二年
度建設を
約す。

全 三、一、
四、二〇〇、
町議會を協
議會を開
いて敷地
問題等に
ついて協
議。

全 三、一、
四、二六、
促進委員
會を開催
し、敷地
問題につ
いて協議

全 三、一、
四、三〇〇、
敷地は大
字柿岡吉
田(赤松
の約四町
歩と決定
す。

學校長 眞家庄助

今回八郷町民多年の宿願が叶つて、石岡一高八郷分校の開校を見ましたことは、私の何よりも喜びとする所であります。

由來旧柿岡町を中心とした所謂山根一町七ヶ村に分校設置の希望は、昭和二十四年頃より澎湃として起つておつたのでありまして、当時の桜井与平柿岡町長は、昭和二十五年よりの開校をめざして同年三月に定時制分校設置方を県教育委員会に申請致しているものであります。其後も数次に五つて同様の運動が続けられたのでありますが、機熟せずして今日に至つた次第であります。

昭和三十年一月一日、これこそ記念すべき八郷町誕生の日であります。この八郷町初代町長に就任した大槻現町長は、就任才一声として町造りは「人造りから」の思慮の下に、人造り優先の施策をもつて、あらゆる困難と障害を克服して、八郷町に高校設置を言明し、爾來二ヶ年を経過し、今日の晴れの分校開設を見た次第であります。斯く申せば至極簡単に開校を見た様であります。何分今後三ヶ年間に四千万円からの負担をせねばならぬ仕事ですから、こゝ迄辿りつくには八郷町としては並々ならぬ困苦と決断のあつた事が想像され、その勇氣と達識に対して私は衷心より敬意を表する次第であります。

大槻町長式辭要旨

立派な校風を築こう

本日ここに多数名士の方々の御来臨のもとに、石岡町一高等学校教職員並びに八郷町関係者、本校生徒及び父兄御一同と、木の香も高いこの新校舎に相会して、県下最初に全日制課程を採用した石岡第一高等学校八郷分校の開校式を挙行出来ることは、山根地方民衆多年の宿願が成就いたしました。当地方開発史上画期的な行事であつて、同慶に堪えないとともに、この事業の決定についての県当局の英断と誘置に御尽力下さつた地元代議士、県会議員の方々始め、町民各位の御協力並びに各方面より寄せられた御鞭撻に対して心から感謝申し上げる次第である。就中、敷地の取得にあつての地主各位並びに地元有志の御理解と、地ならし工事に自衛隊勝田施設学校の援助に對しては深甚なる謝意を表する。

わが八郷町は、元來豊かな農産物をもつ、民情素朴な平和境として誇り高い地域ではあるが、交通条件に恵ぐまれないため、教育文化の施設に於ては遺憾ながら進んでゐたとは申せないが、当校の開設は教育施設の充実と教育の機会均等の実現に大きな意義をもち、当町青少年諸君に明るい希望を与え、全町に湧然として清新の氣をわき起さしむるものと信ずる。

当校の開校は斯くの如き重要な意義をもつものであるが、建設に要する経費は一切八郷町が負担するものであつて、この財政負担は県下屈指の大町たる当町としても中々容易でなく、そのかげに並々なぬ苦心と努力のあることを銘記ねがいたい。しかし全町にもり上がる新町建設の熱意は必ずやこの大業を予定通うり完成し得るものと確信する。この開校式に当りまして、

該地は八郷町の中心、一万二千坪、西に筑波、足尾、加波の連山、北に吾国、難台、愛宕の山波、東には慈瀬川の流れ、春の桜、夏の新緑、秋の紅葉、冬の暮雪、四季あかぬ眺めは真に理想的な健康教育環境であり、校舎亦善美を極め、才二次、才三次と工事が進めば八郷町の一大偉觀をなすであります。現に開校日ならずして、見学者押すを押すの盛況であることを仄聞して、將來の盛觀を險に浮べて思はず莞爾たらざるを得ません。

本年度は開校勿々でもあるので、全日制普通科一學級の募集であつたが、志願者は六十八名の多きにのぼり、その中五十七名の入学を許可した才であるが、中四十八名は八郷町出身者で占めているのをみて、如何に分校開設が

八郷町民子弟の高校教育に裨益しているかおわかりのことと思います。

最後に学校長としての私の念願は、八郷町民各位が真に成心一体となつて、分校の成長発展の爲めに協力され、当初の計画以上に充実した施設内容を一日も早く実現して、自他共に許す立派な八郷独立高校となることであり、それが爲めには皆様の八郷地区より優秀な男女中学卒業生の志願者を一人でも多く、この八郷分校に送つていただくことであります。

教育の道は永遠でありますので、それだけ才一步が大切であります。親校である石岡一高はその組織のすべてをささげて、八郷分校成長発展の爲めに尽す覚悟であります。

呉々も八郷町民各位の力強い御支援を願つてやみません。

一年七ヶ月のいのち

現在の複雑な計量の單位である尺貫法、ヤード・ポンド法等は廃止され、昭和三十四年一月一日から、もの売り買いとか、いろいろな證明に使はれる計量の單位が全面的にメートル法に統一され、長さは一メートル、目方はキログラム、容量はリットルまたは立方センチメートルであらわされることになりました。

官庁や公共団体ではこの四月一日から率先して実施しはじめることになっています。どうぞ皆さんも早くなれるよう心がけて下さい。

八郷高校開校式

瀧田 玉水

○万緑の筑波
校舎の真向ひに

○塗り立ての
校舎明るし松映えて

○五月晴
帽章燦然式辞に答ふ

○青嵐
マイク式典を全郷に

○祝辞数々
筑波ゆずぶる松の芯

八郷高校開校式

○万緑の筑波
校舎の真向ひに
瀧田 玉水

○塗り立ての
校舎明るし松映えて

○五月晴
帽章燦然式辞に答ふ

○青嵐
マイク式典を全郷に

○祝辞数々
筑波ゆすぶる松の芭

お母さんたちの集い

衛生モデル部落の小倉では
おかあさん達がたびたび集会
をもつて、環境衛生改善や家
族計画を話し合い、実行に移
っています。



※全三一、一一、二六より
一一、二六まで
自衛隊の援助を得て校舎敷
地の整地を実施。
全 三一、一二、一四
設計に着手する。
全 三二、二、一二
県教育委員会にて正式議決
同日、町議会でも正式議決
全 三二、二、一三
校舎建設請負契約
全 三二、二、一五
県教育委員会告示第十五号
で、昭和三二、四、一より
石岡一高八郷分校として登
足することとなる。
全 三二、五、一五
開校式を挙行する。

